

企画展

向井潤吉

みちのくのくの家

むかいじゆんきち



《六月の田園》 世田谷美術館所蔵

会期

平成28年 9月10日(土) — 11月13日(日)
 展示作品入れ替えのため10/11(火)～14(金)はご覧いただけません。
 9/10(土)・10/10(日祝)・29(土)・30(日)・11/3(日祝)は無料でご覧いただけます。
 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日。ただし10月は休館日なし)

【前期】 9月10日(土) — 10月10日(月祝)
 【後期】 10月15日(土) — 11月13日(日)

「民家の画家」として知られる向井潤吉(明治34年～平成7年)が東北地方で描いた作品を、世田谷美術館及び世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館の所蔵作品を中心に紹介します。

向井は、京都に生まれ東京を拠点に活躍した洋画家で、戦後は高度経済成長によって次々に失われてゆく全国の民家を訪ね歩き、描きました。

一ノ関駅前の旅館から移築した土蔵を世田谷の自宅に増設したのは昭和44年。翌年の岩手国体を控えた区画整備事業で失われる間際だったその土蔵は解体されて運ばれ、全国を旅する画家が彩管を揮うアトリエとして蘇りました。

一関と縁のある画家 向井潤吉による、風土やそこに生きる人びとの息づかいまで伝える作品の数々をご堪能ください。

【関連行事】

第1回
9月18日(日) 13:00～15:30

講演

「向井潤吉・その足跡をめぐって」

橋本善八氏
世田谷美術館学芸部長

対談

「向井潤吉先生・それぞれの思い出」

佐々木繁美氏
(公財)盛岡市文化振興事業団
盛岡市民文化ホール相談員
橋本善八氏

第1回・第2回とも

定員／一般100名(要申込)
参加料／無料

ギャラリートーク 当館学芸員による。参加料／無料(入館料のみ必要)

9/17(土)11:00～11:40、14:00～14:40、9/18(日)15:40～16:20
 10/16(日)15:40～16:20、10/30(日)11:00～11:40、14:00～14:40

第2回
10月16日(日) 13:00～15:30

講演

「茅葺きの暮らしと生業」

安藤邦廣氏
筑波大学名誉教授
里山建築研究所主宰
(一社)日本茅葺き文化協会代表理事

対談

「茅葺きの技と職人の未来」

安藤邦廣氏
米山淳一氏
地域遺産プロデューサー
元(財)日本ナショナルトラスト事務局長
(公社)横浜歴史資産調査会 常務理事・事務局長

テーマ展

テーマ展
1

江戸文人の交友録

—大槻磐溪をめぐる人々—

会期 4月29日(金祝) — 6月5日(日)

★4月29日(金祝)、5月15日(日)は無料でご覧いただけます。

仙台藩の漢学者であった大槻磐溪は、仙台はもとより江戸周辺をはじめ、京都、長崎そのほかまで文人たちと交流していました。本展は磐溪を中心とする江戸文人のつながりを資料から紹介します。



松平齐民筆 大槻磐溪肖像

【関連行事】

講演会

「大槻磐溪の三つの源泉
—蘭学と儒学と文雅—

5月14日(土) 13:30~15:00

講師/揖斐高氏

(成蹊大学名誉教授)

定員/一般100名(要申込)

参加料/無料

【展示解説会】

4月29日(金祝) 11:00~11:40

13:30~14:10

5月14日(土) 15:10~15:50

5月15日(日) 11:00~11:40

13:30~14:10

テーマ展
2

松川二十五菩薩像の全貌

—平泉文化の余光—

会期 7月2日(土) — 8月14日(日)

★7月2日(土)は無料でご覧いただけます。



松川二十五菩薩像

一関市東山町に残る「松川二十五菩薩像」は平安時代末期の作とされ、造形と像様ともに平泉文化を色濃く表現している秀逸な作品といわれています。本年度は世界遺産「平泉」の登録5周年であり、この機会に市内に残る平泉文化の余光を紹介いたします。

【関連行事】

7月2日(土) 13:30~15:40

講演会

「阿弥陀浄土への憧憬

—松川二十五菩薩像の空間をイメージする—

講師/冨島義幸氏(京都大学大学院准教授)

「郷土に輝く二十五さま」

講師/佐藤育郎氏(松川二十五菩薩保存会会長)

定員/一般100名(要申込) 参加料/無料

【展示解説会】7月2日(土) 15:45~16:30(講演会終了後)

8月13日(日) 10:30~11:15、13:30~14:15

テーマ展
3

古文書いろは

—地域の歴史をひもとく—

会期 平成29年1月7日(土) — 3月26日(日)

★1月7日(土)は無料でご覧いただけます。

古い書き物は、一見読みにくそうなくずし字で書かれています。コツがわかれば新しい世界が広がります。市内各地に伝わる江戸時代の古文書を通して、先人に生きた証を探ってみましょう。

【関連行事】

講演会「古文書の魅力を語る—ひとつの古文書から—

★第1回 1月8日(日)

13:30~14:10 大島晃一氏(岩手県南史談会会員)

14:20~15:10 相馬美貴子(当館副館長)

終了後展示解説会(~16:00)

★第2回 2月19日(日)

13:30~14:10

鈴木幸彦氏(地域おこし歴史懇話会会長)

14:20~15:10

菅原孝明(文化財課学芸員)

終了後展示解説会(~16:00)

定員/一般100名(要申込)

参加料/無料

御用定留



【展示解説会】1/7(土)、2/5(日) 両日とも 10:30~11:30、13:30~14:30

講座

館長講座



①葛西氏と千葉氏 —飯野川末永氏系図を素材に—
5月29日(日) 13:30~15:00

②骨寺村絵図に描かれた
宇那根社と首人の在家について
8月21日(日) 13:30~15:00

③平泉姫宮と衣川殿 —二人の謎の女性の物語—
11月3日(木祝) 13:30~15:00

講師/入間田宣夫(館長)

定員/一般100名(要申込) 参加料/無料

講座「骨寺大学」



一関市博物館では、これまで大学等研究者と連携して骨寺村荘園遺跡の多角的な調査研究を実施してきました。これらの成果を広く公開するため、連続講座を実施します。全8回。
定員/一般50名(要申込)
参加料/300円(初回のみ)

骨寺村荘園遺跡空撮

①「骨寺村の遺跡と景観」

5月7日(土) 13:30~15:00 鈴木弘太(当館主任学芸員)

②「骨寺村の中世文書と絵図」

6月11日(土) 13:30~15:00 小岩弘明(当館副館長)

③「骨寺村の宗教世界」

7月24日(日) 13:30~15:00 菅田慶信氏(岩手県立大学非常勤講師)

④「現地視察 絵図と現地の対比」

8月27日(土) 13:00~17:00 及川陽一郎(当館骨寺村荘園遺跡専門員)

⑤「近世後期の本寺 —飢饉という非常事態—

9月25日(日) 13:30~15:00 菊池勇夫氏(宮城学院女子大学教授)

⑥「近代本寺の人口・生業・景観」

10月29日(土) 13:30~15:00 竹原万雄氏(東北芸術工科大学専任講師)

⑦「骨寺村荘園遺跡の水田灌漑システム」

11月12日(土) 13:30~15:00 広田純一氏(岩手大学教授)

⑧「骨寺村絵図研究の最前線」

12月17日(土) 13:30~15:00 入間田宣夫(当館館長)



和算記大成

和算講座 一般編

江戸時代の一般向けの和算のテキスト『改算記大成』を通して和算の初歩に親しみます。

①6/18②7/30③8/27④9/24

⑤10/22⑥11/19⑦12/3

の各(土) 13:30~15:00

講師/岩手県和算研究会

定員/一般36名(要申込)

参加料/300円



和算講座

和算講座 研究編

和算書『算法助術』等を使用して和算の公式について広く学びます。

①5/21②6/18③7/30④8/27

⑤9/24⑥10/22⑦11/19⑧12/3

の各(土) 10:30~12:00

講師/岩手県和算研究会

定員/一般36名(要申込)

参加料/300円

古文書講座 —伊達騒動を読む—

当館所蔵の「田村家記録」などから、仙台藩でおこったお家騒動「伊達騒動(寛文事件)」にせまります。

①5/22②6/5③6/19④7/3⑤7/17

の各(日) 13:00~15:00

講師/学芸員

定員/一般36名(要申込)

参加料/300円

田村家記録



体験学習

🍷 グラスペインティング(ガラス絵)に挑戦

透明な板ガラスの裏側から絵を描く「ガラス絵」に挑戦してみませんか。ガラス絵は17世紀の半ばにオランダ商館長から初めて日本に伝えられたと言われてます。その美しさには、蘭学者をはじめ当時の人たちも目を見張ったことでしょう。大人の参加も歓迎です。



4月30日④、5月1日⑤

両日とも 午前の部 9:00~12:00 午後の部 13:00~16:00

講師/学芸員 参加料/300円(1人)

定員/小学3年生以上各回15名

(付き添いの保護者もご参加ください。要申込)

📷 カメラマンと楽しむピンホールカメラ



レンズもないのに撮影できるピンホールカメラ。プロカメラマン阿部和史氏を講師に、手作りのピンホールカメラで撮影をします。

針穴(ピンホール)を通して映し出される不思議な写真を楽しみましょう。

10月2日⑤ 9:15~16:45

講師/阿部和史氏(フォトグラファー)

定員/中学生以上、10名(要申込) 参加料/500円

🏞️ 史跡めぐり 一磐井の石めぐり

室根地域の巨岩、巨石、石造物をめぐり、古来の信仰や伝説にふれます。午前中は室根山中を歩く予定です。室根石についても学びます。市のバスで移動します。



室根山の鬼岩

9月11日⑥

8:30博物館、9:30千厩支所

10:00室根支所のいずれかに集合

16:00博物館着(予定)

定員/一般25名(要申込)

参加料/無料

🔨 あなたも刀鍛冶修業



フイゴや金敷、金槌など刀鍛冶の道具を使って、五寸釘からペーパーナイフを作ります。(火花が散りますので、作業がしやすい服装でおいで下さい)

講師/早坂政義氏(刀匠)

10月8日④ 13:00~16:00

定員/小学5年生以上一般20名(要申込)

参加料/200円

🎨 美術品の扱い方を学びましょう

家にある美術品を大切に伝えていくために、正しい扱い方を学びましょう。

★第1回 掛軸と箱結び 5月28日④
10:30~11:30、13:00~14:00

★第2回 刀の手入れ 10月15日⑤
10:30~11:30、13:00~14:00

講師/学芸員

定員/第1回 午前・午後 各一般10名

第2回 午前・午後 各一般5名

(要申込)

参加料/無料



🍷 はくぶつかんこどもくらぶ

当館の展示テーマにちなむ体験学習。親子で楽しもう。

★江戸時代のうつし絵をつくろう

6月4日④

10:00~12:00

13:00~15:00の間随時

(所要時間約1時間)

定員/50名(申込不要)

参加料/50円(材料費)



★江戸時代のマジックボックスのぞきめがねをつくろう

7月31日⑤

13:30~16:00

持ち物/500mlの牛乳パック1個

定員/親子25名(要申込)

参加料/300円(材料費)



★和紙を染めてみよう

12月18日⑥

10:00~12:00

13:00~15:00の間随時

(所要時間約1時間)

持ち物/なし

汚れてもいい服装でおこし下さい。

定員/50名(申込不要)

参加料/50円(材料費)



🧮 和算に挑戦

日本の数学・和算の問題を解いてみよう。初級から上級問題まで、解答を募集します。



12月1日⑥に問題と応募要領を発表、郵送で解答を受け付けます。

締め切り/1月20日④消印有効

定員/どなたでも。応募者には3月末日までに解答集をお送りします。

表彰式/3月5日⑥ 13:30~15:00

ツアー

🎨 美術館ツアー

当館企画展「向井潤吉 みちのくの民家」を見学後、秋田県立近代美術館で開催の特別展「ホキ美術館展」を鑑賞に出かけます。

ホキ美術館展では、昨年亡くなった一関ゆかりの画家 森本草介氏の作品3点も展示予定です。一関市博物館では企画展の解説、また、ホキ美術館展の事前学習を、当館学芸員を講師に行います。博物館、美術館での作品鑑賞ができる年齢であれば、児童・生徒の参加も歓迎です。小学生以下は保護者の付き添いをお願いします。



《コーヒータム》 森本草介

ホキ美術館所蔵

レクチャー/当館学芸員

9月11日⑥

9:00~17:00

博物館集合・解散

定員/60名(要申込)

参加料/実費

(3,000円程度を予定・昼食代含)



このマークは小学生参加可能な行事です。

※講演会や体験学習などの申込みは、全行事について随時電話にて受け付けています(TEL 0191-29-3180へ)。

※その他、行事に関する詳細は博物館へお問い合わせ下さい。

通史展示

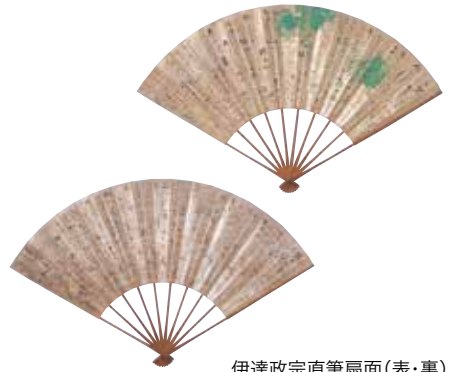
一関のあゆみ

過去から未来への展望

原始・古代から現代まで、一関を中心とする地域の歴史の流れと特色を紹介いたします。中世荘園骨寺村に関する資料もブースを設けて展示しています。



中世荘園骨寺村ブース



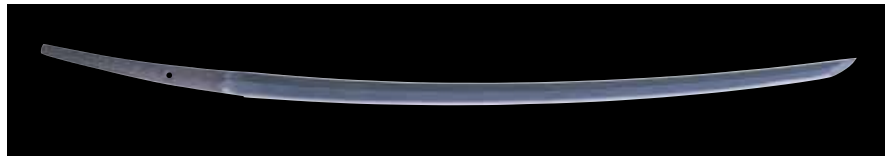
伊達政宗直筆扇面(表・裏)

テーマ展示

1 舞草刀と刀剣

日本刀の源流・舞草刀

日本刀の源流・舞草刀の究明をめざす展示です。日本刀の系譜・実用性・美的価値などを全国的視野に立って系統的に紹介いたします。



【刀剣】太刀 銘 舞草

2 玄沢と蘭学

蘭学者大槻玄沢の業績

一関藩医建部清庵を師とし、江戸で蘭学の第一人者となった大槻玄沢の生涯と、わが国の近代科学の形成に果たした役割を紹介いたします。



【蘭学】蘭学階梯初版本



【和算】一関八幡神社算額(復元)

3 文彦と言海

本格的国語辞書の著者

わが国最初の本格的国語辞書『言海』の著者大槻文彦の人と業績について、映像を用いながら紹介します。



【言海】言海初版本

4 一関と和算

和算隆盛の地一関

一関地方が全国的にも和算隆盛の地であったことを、千葉胤秀とその門弟の活躍を通して紹介します。ゲームで和算を体験することもできます。

ながぬまもりよし
長沼守敬

明治時代に活躍した一関出身の洋風彫刻家、長沼守敬の作品を紹介します。



《老夫》岩手県立美術館所蔵

入館料

区分	料金	団体 (20人以上)
小学生・中学生	無料	無料
高校生・大学生	200円	1人につき160円
一般	300円	1人につき240円

※市内65歳以上の方と身障者手帳等をお持ちの方は、入館料が免除されます。

共通入場券

有効期間	料金	対象施設
1年間	1,000円	一関市博物館 芦東山記念館 石と賢治のミュージアム 大籠キリシタン殉教公園
10日間	500円	

無料入館日

企画展、テーマ展の開会初日、国際博物館の日の5/15(日)、開館記念日の10/10(日祝)、東北文化の日の10/29(土)～30(日)、文化の日の11/3(木祝)は、無料でご覧いただけます。

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日。ただし10月は休館日なし)
資料整理のための休館日12/6(火)～12/15(金)
年末年始12/29(土)～1/3(日)

開館時間 9:00～17:00(ただし、入館は16:30まで)

交通案内

■自動車

浦和IC⇄一関IC(約4時間30分 420km)
仙台宮城IC⇄一関IC(約1時間 88km)
盛岡IC⇄一関IC(約1時間 92km)
一関ICより約7分(5km)

■JR東北新幹線

東京⇄一ノ関(約1時間58分)
盛岡⇄一ノ関(約23分)
仙台⇄一ノ関(約21分)
一ノ関駅より車で約17分(9km)

※一ノ関駅から路線バスで約20分(厳美溪バス停下車徒歩7分)



この「年間行事案内」に対するお問い合わせ、参加申込みは、一関市博物館 TEL 0191-29-3180 まで

<http://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp>

一関市博物館

検索